

地域子育て拠点再構築方針中間とりまとめでの就学前教育等の目標等について

1 目標(案)

- ・心身ともに健康で人間性豊かな子どもの育成

2 めざす子ども像(案)

- ・健康で元気な子ども
- ・意欲的に取り組み、最後までやりぬく子ども
- ・自分から学び、考えようとする子ども
- ・自分も友だちも大切にし、共に育ちあえる子ども
- ・感性豊かで、自己表現のできる子ども

3 大切にしていくこと(案)

0歳3か月 ～ 6か月	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の生活の流れ(24時間)を把握して、無理なく生活リズムを整えていく ・保健的で安全な環境のもと、特定の保育士が愛情深いかわりを持つことで愛着関係を築き、安定して生活できるようにする
6か月 ～ 1歳3か月	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の保育士との愛着関係の中で、応答的なかわりを大切にし、信頼関係を育む ・行動範囲が広がるため、安全に留意し、一人一人が安心して満足するまで遊べる環境づくりをする
1歳3か月 ～ 2歳未満	<ul style="list-style-type: none"> ・月齢差や個人差が大きいので、一人一人に応じた援助をしていく ・保育士の見守りの中で、安心して人や物にかかわれるような環境を整えていく
おおむね 2歳	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な基本的生活習慣については一人一人の子どもの状態に応じ、落ち着いた雰囲気の中できめ細やかに援助していく ・自我の芽生えに応じて自己主張も見られるが、「自分で」という意欲を尊重し、また自立不安定期間でもあるので、自主的に行動できるように促していく
おおむね 3歳	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことにおいては、一人一人の発達段階や生活力に応じた援助をしながら、自分でやってみようとする意欲を育てる ・思う存分遊び、友だちと一緒に遊んだり、かかわったりする楽しさにつながるように援助し、集団生活に必要なきまりごとを知らせていく
おおむね 4歳	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要なきまりやルールを繰り返し伝え、再確認していくことで生活習慣が定着していくようにし、自分でしようとする力を育てる ・生活や遊びを通して友だちとのつながりを広げ、葛藤を経験しながら自分の思いを伝えたり、相手の思いに気づいたりできるようにする
おおむね 5歳	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な基本的な力(善悪の判断・協調性・人の話を聞き、自分の思いを伝える力など)を身につけるために、幼稚園教諭・保育士は適切に援助していく ・仲間の一人として自覚や自信を持てるようにし、仲間と役割分担や協力をして、活動する楽しさを多く経験できるようにする
おおむね 6歳	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の自主性、社会性、協調性を育て、自分たちで見通しを持って生活や遊びを進めていけるように、子どもたちと話し合いながら環境を整えていく ・一人一人の活動への多様なとりくみ方をうけとめ、子どもの豊かな感性や認識力、思考力及び表現力が養われるように、自然や身近な事象に触れる機会を持つ